

良い新年を迎えられるよう、自分自身はもとより仲間の安全と健康を願って

ご安全に！第10期もスタートして3ヵ月が経過しました。第17回定期大会で決定いただいた運動方針に基づく諸活動の推進にあたり、加盟組合・構成組織、県本部・県センターの皆さんには、ご理解・ご協力、そして積極的な参加をいただいております。心からの敬意と感謝を申し上げます。

さて、時節柄、年明け2月の安全衛生対策強化月間用の安全ポスターを募集させていただき、今回も多くのお応募がありました。この場をお借りし、感謝申し上げます。応募いただいた作品を見ると、作品のほとんどが年齢・性別を問わず「人」が中心であり、かつ複数の方が描かれています。「安全」という言葉を伝え、その大切さを表現するためには、常に人とその家族や仲間が中心であり不可欠である、このことが共通の認識として醸成されていることの表れだと思います。

しかし、残念なことに、今年も多くの中間の尊い命が失われてしまいました。ポスターに描かれているような、今朝まで、ついさっきまで元気だった大切な人・仲間が、幸せを育むための働く職場で突然命を奪われる、こんな辛く悲しいことはありません。

基幹労連は、「人を真ん中、軸をぶらさず、たゆまぬ前進」のスローガンのもと、一丁目一番地に安全衛生活動の再強化～類似災害・重大災害の撲滅と無災害職場の確立～を掲げ、活動の基盤に据えたうえで諸活動を進めています。

どんな日常にも危険は潜んでいるものですが、一方で、備え防ぐことのできるものも数多くあります。死亡災害の連鎖を断ち切り、リスクのない安全で安心な職場を構築していくために、過去の災害事例の活用と分析も行い、自らの職場に置きかえて労使一丸となった各種活動に取り組んでいただくようお願い致します。

年末・年始という節目。令和元年も残りわずか。今年を振り返りつつ良い新年を迎えられるように、自分自身はもとより仲間の安全と健康を願い、心を込めて「ご安全に」。

2019年12月17日
日本基幹産業労働組合連合会
事務局長 津村 正男